そこに、利用者の皆さん、クルー、お客様の笑顔があるから

ハウス支援店舗 河渡コメリ店・8号線燕三条店

8号線燕三条店
GEL
（おもてなしリーダー）
倉茂 かおるさん
8号線燕三条店
店長
須永 涼子さん
河渡コメリ店
GEL
（おもてなしリーダー）
山田 正子さん
河渡コメリ店
GEL
（おもてなしリーダー）
佐藤 奈美さん
河渡コメリ店
マネージャー
瀧澤 俊弘さん

束の間の日常を届けるために

「利用者の皆さんと交流していると、ご家族が抱えるさまざまな思いを伺うことも多くて。でも、笑顔がこぼれる瞬間もあり、そんな時に私は“束の間の日常”に貢献できているんだと実感します」。河渡コメリ店の瀧澤さんは、病気と向き合う子どもたちとその家族に寄り添いたいという思いで、ハウスの支援活動に取り組んでいる。

河渡コメリ店と8号線燕三条店は日頃からの店舗での募金活動に加え、にいがたハウスに定期的に訪問し、利用者の皆さんに食事を無償で提供するミールプログラムやバースデーパーティーなど、直接的なサポートも行っている。そうして利用者の皆さんのほか、クルーやお客様との新たなつながりも生まれている。

誰かのために努力する喜び、輝く個性

にいがたハウスが設立されたのは2022年のこと。「ついに新潟にもハウスできたのだから自分もサポートしたい」。そんなクルーや店長の思いが重なり、河渡コメリ店での活動はスタートしたという。当初から活動に携わる山田さんは、その魅力をこう語る。「ミールプログラムは、手作りの料理を通じてハウス利用者の皆さんにホッとひと息ついてもらおうと始まりました。喜んでもらえるレシピを考え抜き、うれしい感想をいただけると私たちも元気をもらえます。店舗のクルーたちも積極的に参加してくれて、支援に対する仲間意識の広がりを感じます」。同じく長年活動に携わる佐藤さんは、個人的な思い入れを語る。「お客様へのハウス認知を進めるために店内のデザイン装飾を行いました。自らの工夫に対して募金と共にお褒めの言葉をいただいたことは、今でも覚えています。料理やデザインなど、それぞれが得意なことを生かし、普段は見えない仲間の新たな一面を知ることもできる活動なんです」。利用者の皆さんのために始まった活動は、クルー一人ひとりが個性を発揮し、お互いの自分らしさを発見する機会にもなっている。そうしてハウス支援の輪は広がっていった。

500円
スマイルソックス
新潟ハウス ミールプロジェクト

お客様にハウスを認知・支援してもらうため、日頃から募金活動・装飾を展開

支援の輪は、お客様や地域にも届いている

そんな河渡コメリ店で活動に触れ、感銘を受けたのが、現在8号線燕三条店の店長を務める須永さん。「さまざまな活動を知り、こんなにいろいろなことができるんだって驚きました。何よりも、クルーがうれしそうに参加していて、特に募金活動やミールプログラムはお客様も笑顔で協力してくださるんです！ ハウス支援は、利用者、店舗、クルー、お客様までもつなぐ取り組みなのだと気づかされました」。

だからこそ、須永さんは8号線燕三条店へ異動しても、同じように活動を展開し、輪を広げようと努めた。その思いを受け取ったメンバーの一人が倉茂さんだ。「取り組みを通じてクルーやお客様の笑顔が生まれ、それが連なり、最終的にハウス利用者の皆さんにつながる。ハウス支援は、人と人をつなぐ特別な活動だと考えています。そのためお客様や他店舗の仲間にも積極的に声をかけ、輪を広げようと努めています。また個人で、楽器の寄贈、店舗での楽器演奏による募金活動も行っており、子どもたちが楽器を夢中になって触っている姿やお客様がハウス支援に理解を示す様子を見ると、心からやってよかったと思います」。

利用者の皆さんに少しでも穏やかな時間を届けたい。そうしてクルーやお客様までも活動に参加し、気づけば自身も笑顔になっている。支援の輪、つながりは、これからも広がっていく。

7月7日（火）♪メニュー♪
あたたかいメッセージやミールの感想などをハート内にお願いします♪

「活動に参加してよかった」「楽しかった」というクルーの声、「ありがとう」「うれしかった」という利用者の声が共鳴し、活動は広がっていく

倉茂さんお手製のカリンバ。ハウスに寄贈している

にいがたハウス

2022年、国内12ヵ所目、日本海側初のハウスとして誕生。新潟県内でも特に高度な医療を提供する新潟大学医歯学総合病院のそばに設置され、遠方の市町村や他県から、病気と向き合う子どもたちとその家族が訪れる。明るさと温もりにあふれたつくりになっており、ハウスの壁や柱には新潟県産の木材が取り入れられ、太陽光も入りやすい構造になっている。

2026年も
みんなで青いマックの日を盛り上げよう！

青いマックの日
DMHC

「ロナルド・マクドナルド・ハウス」の活動をより多くの方に知っていただき、支援の輪を広げたい。そんな想いから世界各国のマクドナルドで行われているチャリティキャンペーンデー。それが「青いマックの日」です。日本では2017年から開催されており、2025年には皆さんの温かいご支援・ご協力により、121,480,660円※の募金が集まりました。本当にありがとうございました。

「青いマックの日」の開催10周年となる今年は、10月18日（日）に実施します！

※日本マクドナルド（株）および日本マクドナルドフランチャイジーからのハッピーセット販売数に応じた寄付と、キャンペーン期間中にお客様からお寄せいただいた募金総額＜期間：2025年10月1日（水）～10月31日（金）＞。店頭募金、モバイルオーダーによる募金、PayPayでの募金、募金付きバリューセット®・募金付きXGセットを購入いただいた募金、Yahoo!ネット募金ほかロナルド・マクドナルド・ハウスへ直接支援いただいた金額も含む総額です。

今年も“青”一色に染め上げよう！

「ロナルド・マクドナルド・ハウス」の取り組みをより多くのお客様に届けるためには、「青いマックの日」を店舗全体で盛り上げることが大切です。テーマカラーの“青”で店内を彩ったり、お揃いの青いTシャツを着用したり。店舗それぞれの活動が、ハウスを知っていただくきっかけになります。まずは「自分にできること」を考えてみませんか？

青いマックの日
今年は、10月18日（日）。
ハッピーセット®のご購入が
病気と向き合う子どもたちとご家族の
応援につながります。
50円
寄付
Ronald McDonald House
Japan

テイクアウトバッグやドリンクカップなど、
青いマックの日仕様のアイテムが今年も登場予定！

© McDonald's